



則武っ子

自律 (自分から)
共生 (仲間とともに)
創造 (自分らしく)



「デジタル」と「リアル」 ～「体験」の大きな価値～

校長 遠山 健二

今週火曜日は、大雨に伴う下校時刻の変更があったにもかかわらず、各ご家庭が臨機応変に動いてくださったおかげで、無事全員が安全に下校できました。本当にありがとうございました。

さて、今月16日(木)、5年生が長良川鵜飼の観覧に出かけました。岐阜市の事業で補助を受けての観覧です。鵜飼ミュージアムを見学した後、鵜飼観覧船に乗りました。

5月の船上はまだまだ寒く、船頭さんが子どもたち一人ひとりに毛布を貸してくださり、それにくるまって鵜舟の到着を待ちます。いよいよ鵜舟が子どもたちの前にやってきます。鵜匠さんのご厚意か、観覧船のすぐ目の前まで鵜舟が近づいてきて、鵜が飛び込んだり上がったたりする際の水しぶきや、篝火の火の粉が、こちらにかかる位です。

一度通過した鵜舟ですが、もう一度すべての鵜舟が集まり、1列に並んで鮎を追い込みながら漁を行う「総がらみ」も見せてもらえました。何度も水に潜り漁を続ける鵜を見続ける中で、

「がんばれー！」

という声が上がります。その声に、鵜匠さんの一人が手を振ってくださいました。このやりとりを見ていた、となりの観覧船の一般の見物客から拍手をもらっていました。鵜舟と観覧船との「一体感」がとても心地よいものでした。

今回の鵜飼観覧に参加して改めて考えさせられたのは、こうした「体験」の価値です。

今、子どもたちが手にするタブレットPCですが、文字や画像だけでなく様々な動画情報も手に入れることができるようになっていきます。当然、鵜飼についても素晴らしい情報が出てきます。最近の「デジタル」技術には、目を見張るものがあります。

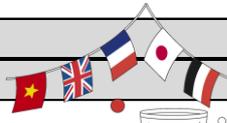
しかしながら、タブレット上のデジタル情報を見ながら、子どもたちが「がんばれー！」と声をかけるのでしょうか？ いくら技術が進歩しても、やはり「本物」＝「リアル」に迫る体験にはかなわないと思います。

最新の情報が手軽に手に入れられる「デジタル」の価値を有効利用しつつ、私たち子どもを取り巻く大人は、手間はかかるでしょうが、意図的・計画的に「体験」を子どもに提供していく必要があります。コロナが収束してきた今、少しでも多くの「リアル」を子どもたちに提供していきたいと考えています！



《6月行事予定》 ※現在の予定ですので、変更になることもあります

日	曜	校 内 行 事
1	土	運動会
2	日	
3	月	振替休業日
4	火	救命救急講習6年
5	水	委員会 心電図検査1・4年(AM)
6	木	プール掃除5・6年 学校運営協議会
7	金	いじめを見逃さない日(全校道徳) 検尿二次 プール掃除予備日
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	連れ去り防止教室
12	水	放課後学びの部屋 なかJはじめましての会 ぎふMIRAIs(高)
13	木	プール開き
14	金	放課後学びの部屋
15	土	インリーダー活動
16	日	
17	月	
18	火	なかJスクール クラブ
19	水	放課後学びの部屋
20	木	6年租税教室②③④
21	金	放課後学びの部屋
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	放課後学びの部屋
27	木	幼保小連携協議会
28	金	放課後学びの部屋
29	土	
30	日	



青少年育成市民会議
あいさつ運動



「おやしクラブ」の呼びかけでグラウンド整備

先週25日(土)、のりたけおやしクラブの方々の働きかけで、たくさんの保護者の皆さま及び児童が集まってくださり、運動場の周りの側溝の掃除をしていただけました。土砂を上げてくださったおかげで、グラウンドの排水がとても良くなりました。ありがとうございました。

